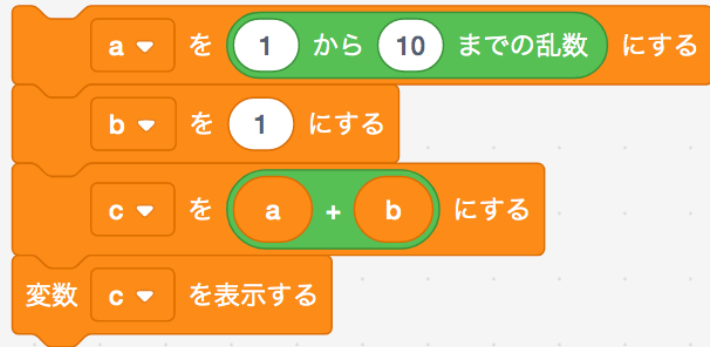


◆解答例



◆解説

変数の次は、乱数を使用した問題です。

乱数とは、範囲内の数値を無作為に取り出したものになります。例えば、1 から 10 までの乱数 を使用した場合、1～10までの範囲内の数字をランダムに取り出し、使用します。

解答例の場合、変数aには 1 から 10 までの乱数 を使用することで、1～10までの数字がランダムに使われるようになります。これはこのプログラムを実行するたびに変わります。次に、変数bには「1」を設定しておき、変数cを変数a+bと同値に設定することで、

$$(1 \sim 10 \text{の中からランダム}) + 1 = \text{変数c}$$

という計算が変数cで行われ、結果として変数cは2～11のどれかになります。